

# V 附属資料

## 策定経過

### 北海道運輸交通審議会及び北海道交通・物流連携会議

重点戦略の策定にあたっては、現重点戦略の検証結果をもとに、北海道交通・物流連携会議の下に重点戦略検討ワーキンググループを設置し検討を進め、取りまとめた重点戦略案を北海道運輸交通審議会及び北海道交通・物流連携会議において審議し、道として決定した。

#### 【北海道運輸交通審議会】

開催日	主な内容
第1回<令和2年8月18日>	○重点戦略の点検・評価結果及び今後の進め方について
第2回<令和3年2月18日>	○次期重点戦略(案)及びパブコメ等意見募集の結果について

#### 【北海道交通・物流連携会議】

開催日	主な内容
第1回<令和2年8月7日>	○重点戦略の点検・評価結果及び今後の進め方について
第2回<令和3年2月10日>	○次期重点戦略(案)及びパブコメ等意見募集の結果について

#### 【重点戦略検討ワーキンググループ】

開催日	主な内容
第1回<令和2年9月4日>	○重点戦略の点検・評価結果、北海道交通を取り巻く現状と課題の整理、次年度以降の重点戦略の考え方について
第2回<令和2年10月8日>	○次期重点戦略(骨子案)について
第3回<令和2年11月18日>	○次期重点戦略(素案)について
第4回<令和3年2月1日>	○次期重点戦略(原案)及びパブコメ等意見募集の結果について

#### 【北海道運輸交通審議会】

<平成30年10月5日～令和2年10月4日>

会長	吉見 宏	北海道大学大学院経済学研究教授			
副会長	岸 邦宏	北海道大学大学院工学研究准教授			
委員	石塚 祐江	環境カウンセラー	参与	安藤 保彦	経済産業省北海道経済産業局長
委員	伊東ミツ子	(一社)北海道身体障害者福祉協会副会長	参与	岩田 圭剛	(一社)北海道商工会議所連合会会頭
委員	今井 一彦	(一社)北海道ハイヤー協会会長	参与	加藤 進	国土交通省北海道運輸局長
委員	蝦名 大也	釧路市長	参与	倉内 公嘉	国土交通省北海道開発局長
委員	奥谷 直子	(公社)札幌消費者協会副会長	参与	小磯 修二	(公社)北海道観光振興機構会長
委員	紺野 則仁	北海道地方交通運輸産業労働組合協議会議長	参与	小暮 一寿	日本貨物鉄道(株)執行役員北海道支社長
委員	武永 雄	北海道船主協会連合会会長	参与	田中 直樹	東日本高速道路(株)執行役員北海道支社長
委員	出口 治康	(一社)北海道バス協会理事	参与	真弓 明彦	北海道経済連合会会長
委員	徳永 哲雄	弟子屈町長	参与	山田 修	国土交通省東京航空局新千歳空港事務所空港長
委員	野村 佳史	(公社)北海道トラック協会理事	参与	依田 淳一	(独法)鉄道建設・運輸施設整備支援機構北海道新幹線建設局長
委員	山崎賢太郎	札幌エアラインズアソシエーション会長			(敬称略・五十音順)
委員	山本 光子	(株)ぐるなび LIVE JAPAN 事業部 アドバイザー			
委員	渡利 千春	北海道旅客鉄道(株)常務取締役 総合企画本部長			

<令和2年12月1日～>

会 長	吉見 宏	北海道大学副学長			
副会長	岸 邦宏	北海道大学大学院工学研究院准教授			
委 員	浅香 博文	(公社)札幌市身体障害者福祉協会会長	参 与	安藤 保彦	経済産業省北海道経済産業局長
委 員	今井 一彦	(一社)北海道ハイヤー協会会長	参 与	岩田 圭剛	(一社)北海道商工会議所連合会会頭
委 員	蝦名 大也	釧路市長	参 与	加藤 進	国土交通省北海道運輸局長
委 員	栗田 敬子	NPO 法人エコ・モビリティ・サッポロ代表	参 与	倉内 公嘉	国土交通省北海道開発局長
委 員	新川 新一	札幌エアラインズアソシエーション会長	参 与	小磯 修二	(公社)北海道観光振興機構会長
委 員	武永 雄	北海道船主協会連合会会長	参 与	小暮 一寿	日本貨物鉄道(株)執行役員北海道支社長
委 員	出口 治康	(一社)北海道バス協会理事	参 与	田中 直樹	東日本高速道路(株)執行役員北海道支社長
委 員	徳永 哲雄	弟子屈町長	参 与	真弓 明彦	北海道経済連合会会長
委 員	野村 佳史	(公社)北海道トラック協会理事	参 与	依田 淳一	(独法)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局長
委 員	星原 智江	(公社)札幌消費者協会理事	参 与	若狭 満	国土交通省東京航空局新千歳空港事務所 空港長
委 員	森下 和彦	北海道地方交通運輸産業労働組合 協議会議長			(敬称略・五十音順)
委 員	八木由起子	(株)えんれいしゃ「北海道生活」編集長			
委 員	渡利 千春	北海道旅客鉄道(株)常務取締役 総合企画本部長			

### 【北海道交通・物流連携会議】

座 長	吉見 宏	北海道大学理事・副学長
構成員	(一社)北海道バス協会	
	(一社)北海道ハイヤー協会	
	(公社)北海道トラック協会	
	北海道通運業連盟	
	北海道通運業連合会	
	北海道地区レンタカー協会連合会	
	北海道旅客船協会	
	北海道港運協会	
	北海道船主協会連合会	
	北海道旅客鉄道(株)	
	全日本空輸(株)北海道支社	
	日本航空(株)北海道地区	
	(株)AIRDO	
	北海道エアポート(株)	
	東日本高速道路(株)北海道支社	
	日本貨物鉄道(株)北海道支社	
	札幌国際エアカーゴターミナル(株)	
	北海道経済連合会	
	(一社)北海道商工会議所連合会	
	(公社)北海道観光振興機構	
	(一社)日本旅行業協会北海道支部	
	北海道ホテル旅館生活衛生同業組合	
	ホクレン農業協同組合連合会	
	北海道漁業協同組合連合会	
	国土交通省北海道運輸局	
	国土交通省北海道開発局	
	国土交通省東京航空局新千歳空港事務所	
	札幌管区気象台	
	札幌市	
	北海道	

### 【重点戦略検討ワーキンググループ】

座 長	岸 邦宏	北海道大学大学院工学研究院准教授
構成員	秋葉 孝博	網走市観光商工部次長兼商工労働課長
	伊藤 嘉範	北海道エアポート(株)観光開発部部長
	内山 裕三	国土交通省北海道開発局開発調整課 開発企画官
	小松 重之	北海道エアポート(株)交通対策部担当部長
	近藤 秀夫	札幌エアラインズアソシエーション 日本航空(株)北海道地区総務部課長
	清水大太郎	北海道経済連合会地域政策グループ 総括部長
	白熊 良平	国土交通省北海道開発局港湾計画課 港湾企画官
	武永 雄	北海道船主協会連合会会長
	継岩 俊明	(公社)北海道トラック協会業務部 業務2課長
	中山 奈央	(一社)北海道バス協会事務局主査
	萩原 国彦	北海道旅客鉄道(株)取締役総合企画本部 副本部長
	花岡 俊樹	日本貨物鉄道(株)執行役員経営統括本部 副本部長幹線物流鉄道ネットワーク担当
	福井 邦幸	(一社)北海道商工会議所連合会 政策企画部長
	本田 肇	国土交通省北海道開発局道路計画課 道路企画官
	増田 厚志	(一社)北海道ハイヤー協会総務部業務課長
	山本 契太	ニセコ町副町長
	若杉 貴志	国土交通省北海道運輸局交通政策部 交通企画課課長補佐

(敬称略・五十音順)

## 道民意向の把握

「素案」について、パブリック・コメント及び市町村や関係団体への意見照会を実施し、広く意見を募集した。

区 分	実施内容	
パブリック・コメント	時 期	令和2年12月18日～令和3年1月18日
	方 法	次期重点戦略(素案)に対する意見募集
	意見数	21件(2名)
市町村・関係団体等への意見照会	時 期	令和2年12月16日～令和3年1月12日
	対 象	179市町村、39団体
	方 法	次期重点戦略(素案)に対する意見照会
	意見数	37件(5市町、6団体)

## 用語解説

<ア行>

### アドベンチャートラベル

身体的活動、自然、異文化体験の3要件のうち最低2つを含む旅行形態。例えばトレッキング、ラフティング、野生動物観察などのアクティビティが含まれる。

### インフラ

infrastructure の略。道路や鉄道、上下水道、発電所・電力網、通信網、港湾、空港、灌漑・治水施設などの公共的・公益的な設備や施設、構造物など「産業や生活の基盤となる施設」のこと。

### ウポポイ

民族共生象徴空間。2020（令和2）年7月、白老町ポロト湖畔に誕生したアイヌ文化復興・発展の拠点となるナショナルセンター。

### 運賃プール

複数の交通事業者において、得られた運賃収入を一旦集約した上で運行回数や運行距離等の一定のルールに応じて分配するもの。

### 運輸連合

P.7 参照。

### オープンデータ

官公庁などが持ち、限られた場所で利用されているデータを一般の利用者がいつでも取り出して利用できるようにしたデータ。

<カ行>

### 共通運賃

複数の交通事業者において、運賃体系ないし運賃水準が同一に設定されたもの。

### コールドチェーン

低温管理を必要とする製品を出荷から最終消費地まで冷蔵または冷凍状態を維持し、品質を保ったまま流通させる物流方式。

<サ行>

### サプライチェーン

製品の原材料が生産されてから消費者に届くまでの一連の工程。

### シームレス

「継ぎ目のない」の意。公共交通分野においては、交通機関間の継ぎ目を解消し、円滑な移動ができる状態を意味する。

### ゾーン運賃

複数の区間を設定し、乗車してから下車まで途中の乗換を含め、一定のエリア内の移動については同一運賃とし、通過するゾーンの数で決める運賃体系。

<タ行>

### デジタルトランスフォーメーション

ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念。

### デマンド交通

電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。需要に応じた運行が可能だが予約が必要。

### テレワーク

情報通信機器などを利用して、場所・時間に制約されずに働く労働形態。

### 等間隔運行

一定周期の等しい間隔で運行されるダイヤグラムのこと。

### ドローン

P.16 参照。

<ハ行>

### バスロケーションシステム

バスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム。

### パターンダイヤ

ある特定の周期で運行されるダイヤグラムのこと。

## ハブ&スポーク型ネットワーク

路線が集中し過密となる駅前や中心市街地の路線等を整理するため、これまで縁辺部から中心部に向かって運行されていた路線をその中間に乗換拠点を設けて、これを起点として幹線・支線を設定し、幹線を共同で運行したり、支線を分担して運行するなどにより、効率的な交通ネットワークを形成するもの。

## 北極海航路

北極海を航行してアジアとヨーロッパを結ぶ最短航路のこと。欧州と東アジアを結ぶ主要航路である「南回り航路」（マラッカ海峡、スエズ運河経由）に比べ航行距離は6割程度となる。

## ホワイト物流推進運動

トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、女性や60代以上の運転者等も働きやすいより「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動。

<マ行>

## モーダルシフト

トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。

## モビリティ・マネジメント

一人の移動が過度な自動車利用から、社会的にも個人的にも望ましい方向に、自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

<ラ行>

## リダンダンシー

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上は、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されているような性質を示す。

## ロジスティックス 4.0

IoT（モノのインターネット化）とAI（人工知能）により物流の省人化と標準化を図ることで生産性向上につなげる取組。

<ワ行>

## ワーケーション

「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。リゾート地などで休暇を兼ねてテレワークを行う労働形態。

<英数字>

## AI

Artificial Intelligence（人工知能）の略。人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータに行わせるための技術。

## API

Application Programming Interface の略。他のソフトウェアと連携させる場合等において、ソフトウェアの要素間でやり取りを行うことを可能とする仕組み。

## BCP

Business Continuity Plan（事業継続計画）の略。自然災害など、予期せぬ事態が発生したときでも、事業を継続できるようにするための計画。

## BtoC

Business to Consumer の略。企業と消費者間の商取引のこと。BtoB は Business to Business の略で企業間の商取引、CtoC は Consumer to Consumer の略で個人間の商取引のこと。

## eコマース（EC）

electronic commerce の略。商品やサービスを、インターネット上に置いた独自運営のウェブサイトで販売する電子商取引のこと。

## ICT

Information and Communications Technology の略。情報・通信に関する技術一般の総称。

## IoT

Internet of Things の略。モノのインターネット。コンピュータなどの情報通信機器以外の様々な物体（モノ）がインターネットに接続され、相互に情報のやり取りを行うこと。

## MaaS

Mobility as a Service の略。ICT（情報通信技術）を活用し、電車、バス、タクシー、自転車などあらゆるモビリティ（移動）を一つのサービスとして展開するもの。

## SNS

Social Networking Service の略。人と人との社会的なつながりを維持・促進する様々な機能を提供する会員制のオンラインサービス。

---

## **Society5.0**

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会（Society）。

## **VR**

Virtual Reality の略。現実にはない世界又は体験し難い状況を CG によって仮想空間上に作り出す技術。

## **Wi-Fi**

無線 LAN（無線でデータの送受信を行う技術・製品）の規格名。







みんなで乗れば、  
未来が変わる。

考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

## 北海道交通政策総合指針

### 重点戦略 (2021-2025)

北海道総合政策部交通政策局交通企画課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-231-4111 (代表)